



職員にはどんな人がいるんだろう？



A. いろんな職種の人がいるよ。

いろいろな職種の人がいるんだけど、どの人たちも[安心できる居場所](#)を作るために考えてくれているよ。

[ひとりの人として尊重](#)することを考えているのはもちろんだし、いつだって同じ目線で接してくれる。

どんなときだって味方でいてくれる人たちばかりなんだ。

[放課後等デイサービス](#)には、児童指導員さんや保育士さん、支援員さんたちがいてくれるよ。

保育士か児童指導員と、2年以上の実務経験のある[障がい福祉サービス](#)経験者が合わせて2人以上必要なんだ。

児童10人に対して、[支援](#)する人が2人というのが決まりで、半数以上は児童指導員か保育士であることが必要なんだ。

定員10人で障がい福祉サービス経験者2人だけ、という配置はダメなんだよ。

[児童発達支援管理責任者](#)さんが必ず1人、[管理者](#)さんが1人いるのが基本的なスタッフの構成だよ。

この児童発達支援管理責任者さんと管理者さんは支障がなければ兼務することができるんだ。でも、別の人がいればいいよ。

保育士さんは、国家資格を持っていて、子どもの実際の[療育](#)とか指導を行う人のこと。

児童指導員さんや支援員さんも同じく、実際に子どもの療育とか指導を行う人のことなんだ。

[個別支援計画](#)にもとづいて、障がいのある子どもに適切な支援や指導等を行ってくれる実務担当の人だよ。

[重心型の事業所](#)には、[医療的ケア](#)の専門家である看護職員さんと、[機能訓練の専門家である機能訓練担当職員](#)さんが必要だよ。

これはきちんと決められていることなんだ。

この必要な人が的確に配置されていることを、[人員配置](#)、というんだよ。

児童発達支援管理責任者さんは、放課後等デイサービスに通う子どもに対して、[アセスメント](#)などをしてくれるんだ。

アセスメントは、利用者や家庭の情報、環境などの利用者の状況の把握、身体的能力や日常生活の状況、希望する生活や課題などを確認し把握することをいうよ。

利用者が自立した日常生活をしていくことができるように支援するのに、適切で必要な支援内容の検討を行んだ。

その上で個別支援計画を作成してくれて、[モニタリング](#)なんかも行ってくれる人なんだ。

モニタリングっていうのは、利用者の心身の状況や環境等を考えて、利用者が自立した日常生活をすることができるように定期的に検討することだよ。

自立した日常生活を営むことができる、と認められる利用者には、さらに必要な支援を行うんだ。

管理者さんは、スタッフさんの人材管理や、事務作業をしてくれる人。

サービス利用の申し込みの調整とか、業務の実施状態の把握、その他の管理を一手に引き受けてくれているよ。

[法令等の規定](#)を事業所の職員に対して遵守させるために必要な指揮命令も行うんだよ。

放課後等デイサービスでの仕事は、個人ではできない種類のものなんだ。

すべての人には[自分らしく生きていく権利](#)があって、その基礎や向かっていく努力を「福祉」というよ。

これを実現していくための社会的な対応の仕方を「社会福祉」と呼んでいて、放課後等デイサービスもそのうちのひとつなんだ。

社会はいろんな人で構成されているよね。

なので、「社会福祉」のお仕事は個人ではなくて、チームでする仕事なんだよ。

[いろいろな人が協力して](#)放課後等デイサービスという、みんなが安心できる居場所を運営しているんだね。

## [《MENU》](#)

[《利用回数はみんな一緒なの？](#)

[《児童館ってどんなところ？》](#)

2020-10-26 掲載